

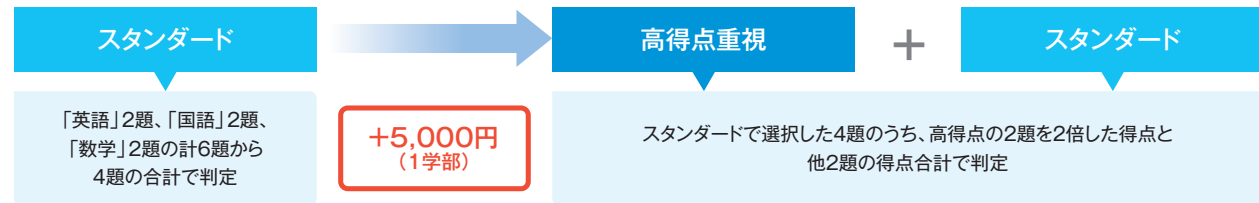
公募推薦について

スタンダード 前期A・B日程、後期A・B日程	小論文・面接 前期B日程、後期A・B日程
---------------------------	-------------------------

合格のチャンスを広げよう!(スタンダード受験者対象)

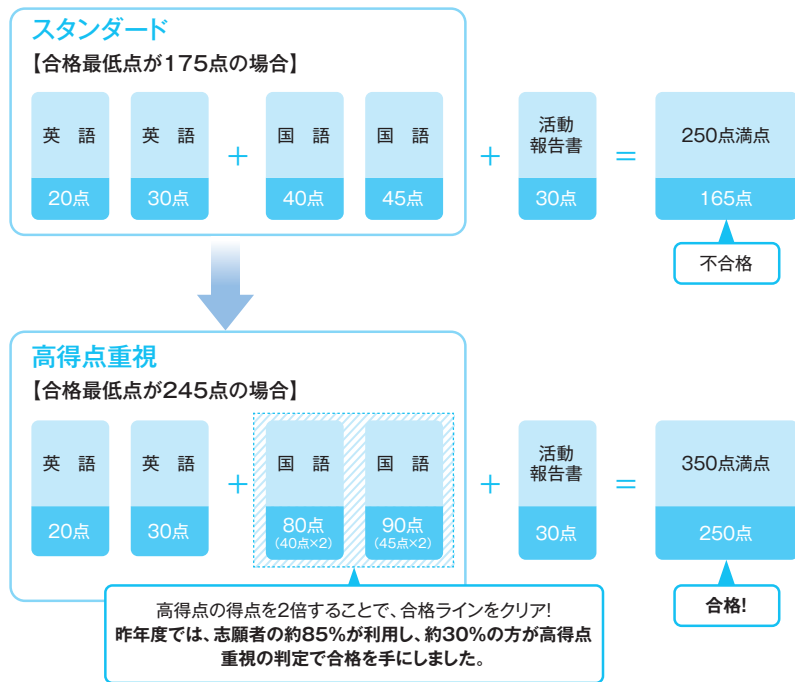
2種類の方法で合否判定が可能

公募推薦(スタンダード)の受験者は入学検定料に1学部につき5,000円を追加することで、「スタンダード」と「高得点重視」の両方の判定を受けることができます。



高得点重視のメリット
得意科目の点数が2倍になり、合格の可能性がアップします。

例:「英語」2題、「国語」2題を選択した場合



高得点の得点を2倍することで、合格ラインをクリア!
昨年度では、志願者の約85%が利用し、約30%の方が高得点重視の判定で合格を手に入れました。

入学検定料

大学 [1出願] 30,000円 (学部追加 1学部 +5,000円 高得点重視追加)
 ※「高得点重視」は「スタンダード」で出願している学部の範囲内で出願可能。
 ※「小論文・面接」は学部併願不可。
 ※同日程での短大との出願は不可。

短大 30,000円
 ※同日程での大学との出願は不可。

詳しくはP.7

活動報告書について

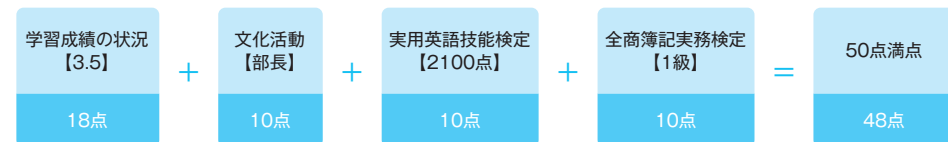
- 活動報告書は、高等学校時代の活動や実績について志願者が申し出た活動報告を学校の教員が承認し、学校長の推薦書と兼ねて厳封して提出する書類です。
- 提出された活動報告書を加点方式で評価します。なお、評価点の合計が満点(50点)を超えた場合は切り捨てとします。
- 同一の評価項目内で複数該当する場合は、評価点の高い方を加点します。なお、資格検定の評価は、語学関連・簿記関連・情報関連の中からそれぞれ加点し、同関連検定からは評価点の高い方を加点します。
- 以下の評価内容に該当していることの証明は、調査書に記載されていることで判断しますので、高等学校の担任教員等に連絡しておくことが大切です。なお、資格検定については合格証明書等の提出が必要です(コピー可)。

【評価点について】

評価項目	評価事項				
	15点	10点	5点		
学習状況	全体の学習成績の状況(5倍して加点)				
諸活動	スポーツ活動	—	主将・部長・キャプテン経験者(6か月以上)	同一クラブに2年以上所属ならびに活動	
	文化活動	—	主将・部長・キャプテン経験者(6か月以上)	同一クラブに2年以上所属ならびに活動	
	生徒会活動	会長	副会長	—	
資格検定	実用英語技能検定(日本英語検定協会)	2300点以上	1950~2299点	1700~1949点	
	GTEC(4技能)(ベネッセコーポレーション)	1190点以上	960~1189点	690~959点	
	TOEIC® L&R+S&W(国際ビジネスコミュニケーション協会)	1560点以上	1150~1555点	625~1145点	
	ケンブリッジ英語検定(ケンブリッジ大学英語検定機構)	160点以上	140~159点	120~139点	
	IELTS(ブリティッシュ・カウンシル日本事務局)	5.5点以上	4.0~5.0点	—	
	TEAP(日本英語検定協会)	309点以上	225~308点	135~224点	
	TEAP CBT(日本英語検定協会)	600点以上	420~595点	235~415点	
	TOEFL iBT(CIEE国際教育交換協議会)	72点以上	42~71点	—	
	簿記	日商簿記検定(日本商工会議所)	1級	2級	3級
		全商簿記実務検定(全国商業高等学校協会)	—	1級	2級
情報	情報処理試験(情報処理推進機構)	基本情報技術者	ITパスポート	—	
	ICTプロフィシエンシー(ICTプロフィシエンシー検定協会)	—	1級	2級	

※全体の学習成績の状況を5倍した場合の小数点以下は四捨五入とします。
 ※実用英語技能検定(日本英語検定協会)の対象は「従来型」「S-Interview」「S-CBT」のCSEスコアとします。
 ※GTECは4技能のオフィシャルスコアとします。
 ※TOEIC® L&R+S&W(国際ビジネスコミュニケーション協会)については、TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にして合計したスコアとします。
 ※記入・提出方法等の詳細は入学選抜要項をご確認ください。

【評価点の例】



※合計点が50点を超えた場合は切り捨てとします。